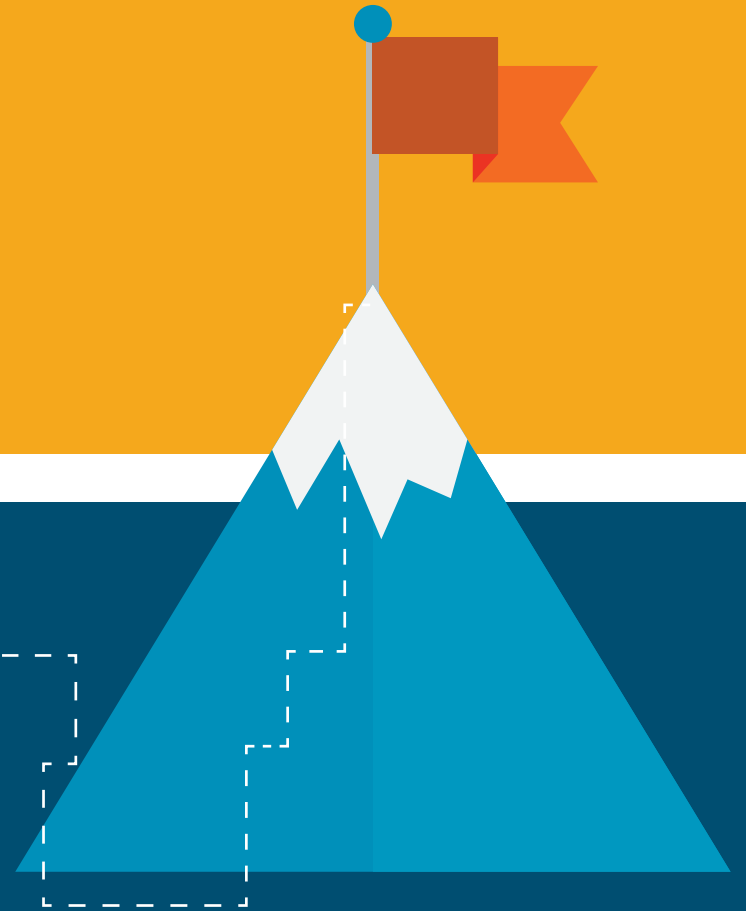


CompTIA®

CompTIA 認定資格が
パフォーマンス
にもたらす効果



はじめに

ITは事業運営の成功にますます欠かせないものとなってきています。ITサポートやITセキュリティといった重要分野における組織のITパフォーマンスの維持・向上は、あらゆる企業のCIOやIT部門のリーダーにとって重要な目標です。



IT部門のリーダーたちは、高度なスキルを持つITプロフェッショナルを呼び込み、つなぎ留めなければならないというプレッシャーに絶えずさらされており、組織のパフォーマンスの向上に寄与してくれるIT人材を求めています。



IDCが新たに実施した調査によると、**CompTIA A+** や **CompTIA Security+** の資格を持つ応募者や社員は、これらの資格を持たない社員より優れたパフォーマンスを発揮することがわかっています。



インターナショナル・データ・コーポレーション (IDC) は、情報技術・通信・消費者向けテクノロジー産業の市場情報を提供する世界大手です。

CompTIA 認定資格 はパフォーマンス 向上につながる

多くの場合 IT 部門のパフォーマンスは企業の成功にとって極めて重要。

必要不可欠なサービスの提供や、必須インフラやツールの維持、重要な業務システムや情報の保護などの面で IT スタッフに頼る傾向は、企業の規模や業界を問わずますます高まっています。

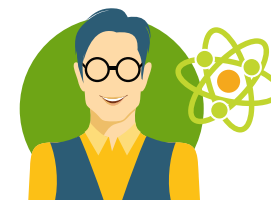
CompTIA A+ や CompTIA Security+ の資格を持つプロフェッショナルは世界中の企業にとってプラスとなるパフォーマンスを発揮します。



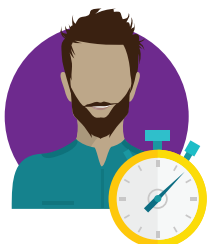
資格を持つ社員の特徴：



1 自信がある



2 知識が豊富



3 職務の習熟が早い

4 信頼できる



5 質の高い仕事をする



1 資格を持つ社員には自信がある

自分の能力に自信のあるITプロフェッショナルは、前向きな考え方をする他、問題や課題をあらかじめ予見し、パフォーマンスに影響する前にその解決を図る傾向にあります。

ITプロフェッショナルはふさわしいスキルを身につけることで、与えられた職務を遂行できるという自信がつかます。



- CompTIA Security+ の資格を持つプロフェッショナルは、職務の円滑な遂行に必要な知識や**85%**スキルを身につけていると思う可能性が高い。

この自信は資格を持つセキュリティのプロフェッショナルにとって次のことに役立ちます。

- 適切なリスク評価
- 介入の計画と実施
- ポリシーの脆弱性の是正

資格取得のための準備や取得活動は、テクノロジーに対する慣れや自分の能力に対する自信の伸びに大きく寄与します。

ご自身の IT セキュリティ関連の能力について、与えられた職務と比較して全体的に評価してください。

CompTIA
Security+
資格あり

60%

CompTIA
Security+
資格なし

<40%

注：データは自身の能力について「職務に必要とされるレベルと同じかほぼ同じ」と回答した人の割合を示す。

2 資格を持つ社員 は知識が豊富

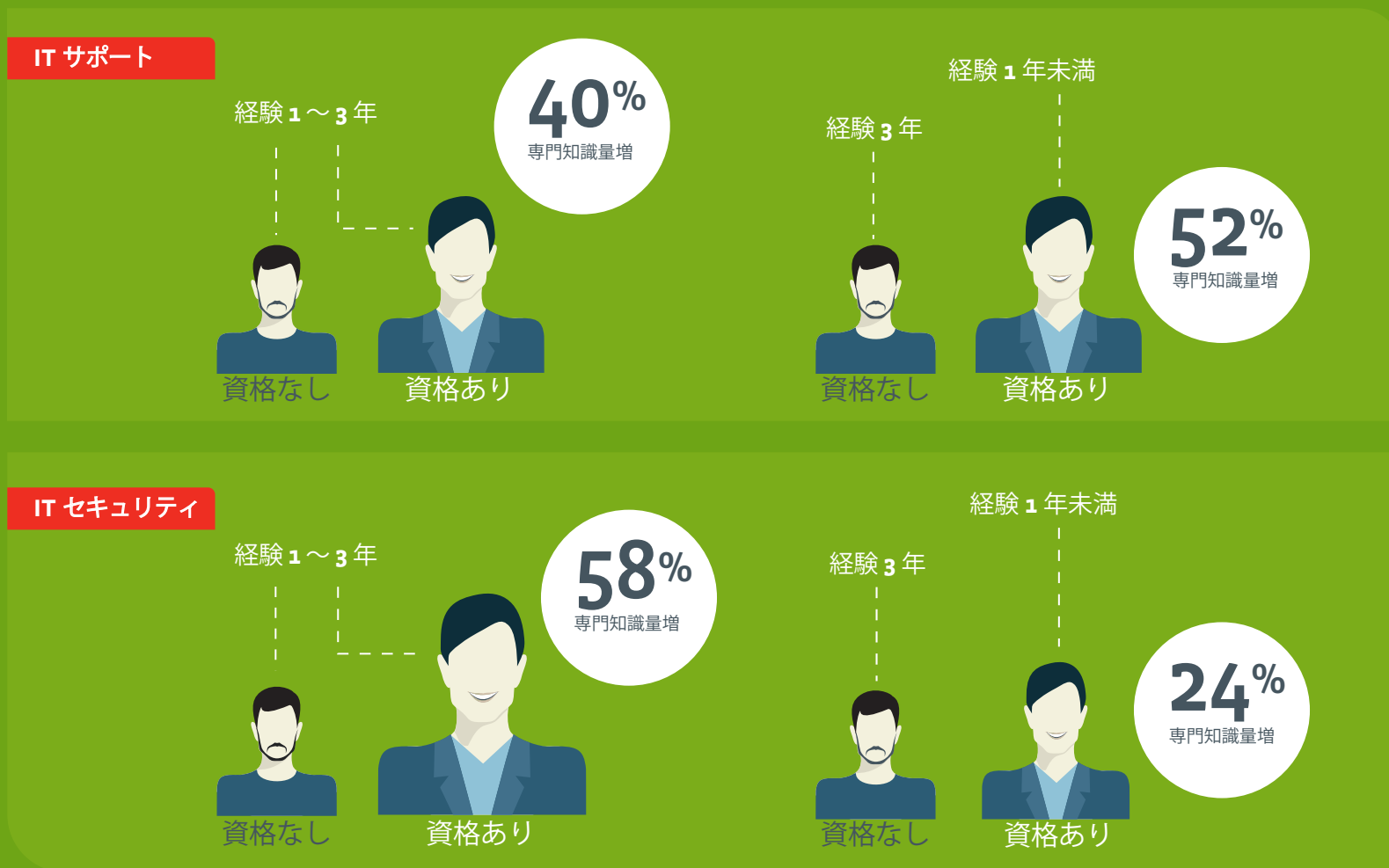
自信だけでは能力にならない。

ベテランのITマネージャーやCIOは、資格に裏付けられた知識をもとに、自社のITスタッフが正しい判断や基本的業務の正確な遂行に必要な知識を身につけていることを確認します。

CompTIA認定資格を持つ人と持たない人との間では、専門知識量に歴然とした差がつくことがあります。



- **経験より資格がものをいう**：CompTIA A+ や Security+ の資格を持つ社員は、同じ経験年数の資格を持たない社員より専門知識量が多い。また、CompTIA 認定資格を持つ経験 1 年未満の社員が示す専門知識量は、CompTIA 認定資格を持たない経験 3 年の社員より多い。



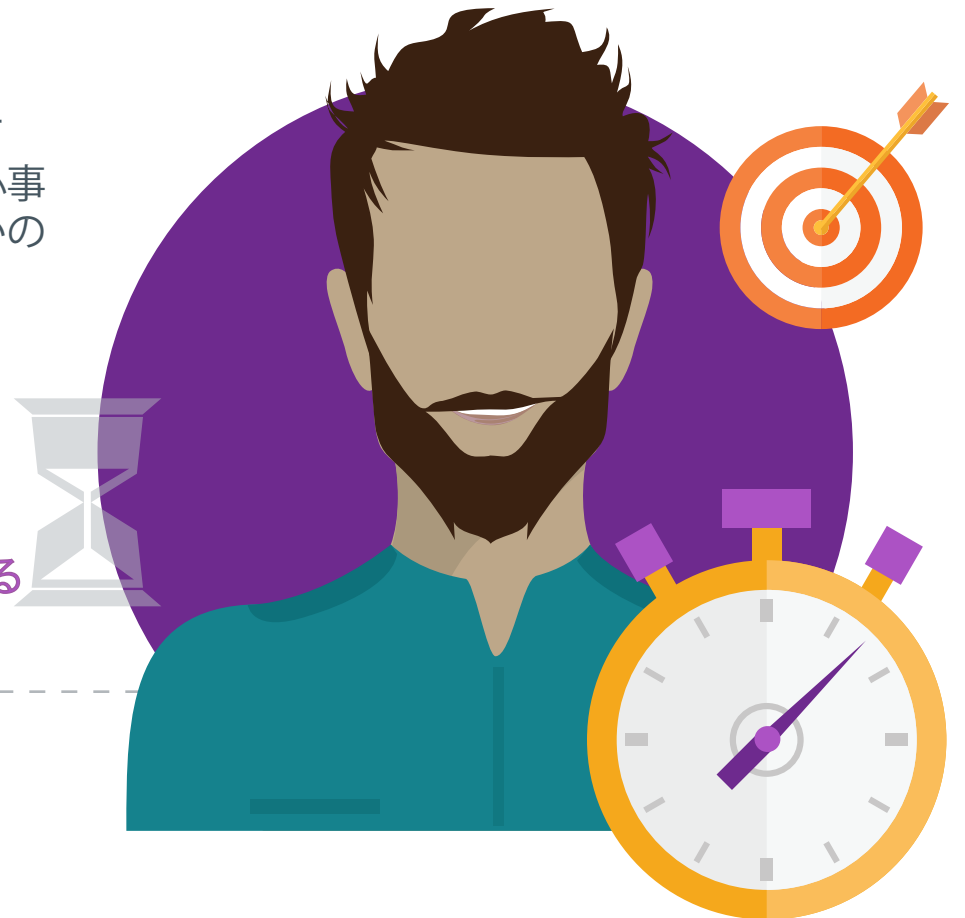
3

資格を持つ社員は 職務の習熟が早い

IT部門のリーダーは新たな社員の採用にあたってさまざまな課題に直面します。中でも一番の関心事は、新入社員が職務を習熟するまでにどのくらいの期間を要するかということです。

CompTIA 認定資格を持つプロフェッショナルは資格を持たない人に勝る知識量によって次のことが可能になります。

- ・ 職場環境をよりよく理解する
- ・ 問題やチャンスをよりはっきり見抜いて伝える
- ・ より短時間で付加価値をもたらす



知識は残る！

20%

セキュリティ分野で 10 年の経験を持つ
CompTIA Security+
取得社員のコア専門知識
量は、同じ経験年数の
CompTIA 認定資格
を持たない社員
に比べて 20% 多い。



25%

サポート分野で 10 年
の経験を持つ CompTIA A+
取得社員のコア専門知識
量は、同じ経験年数の
CompTIA 認定資格を
持たない社員
に比べて 25% 多い。

4 資格を持つ社員 は信頼できる

CompTIA 認定資格を持つ IT スタッフは一般的に、CompTIA 認定資格を持たないスタッフに比べ、さまざまな業務において質の高い仕事をします。

IT サポートと IT セキュリティに関連するさまざまな業務上の役割や、客観的に測定可能な一連の具体的なタスクをみると、資格を持つ社員はより確実に一貫してタスクを遂行しています。



CompTIA 認定資格を持つプロフェッショナルは、資格を持たない人に比べ、重要な業務において質の高い仕事をする。

✓ 最大で **53%** 向上

IT サポート

PC やノートパソコンの自動パッチ・アップデート管理の設定	+30%
PC やノートパソコンの継続バックアップの設定	+24%
ネットワークデバイスの不具合の 4 時間以内の隔離・修理	+21%
デバイスマネジャーによる OS 管理の実施	+17%
2 時間未満でのネットワークングデバイスの設置	+9%

IT セキュリティ

セキュリティ攻撃に気付いてから24時間以内の評価と対応	+53%
ネットワークリソースへのシングルサインオンアクセスの使用	+44%
ワイヤレスネットワークやモバイル端末の脆弱性	+43%
セキュリティポリシーに沿った PC、ノートパソコン、モバイル端末の使用	+16%
基本的な科学捜査手順を用いたセキュリティ事故の調査・評価	+16%
PC、ノートパソコン、モバイル端末でのネットワークリソースへの安全なアクセス	+9%



5

資格を持つ社員は 質の高い仕事をする

CompTIA 認定資格の取得のための準備や実際に取得するまでのプロセスは、重要な IT サポート業務や IT セキュリティ業務における IT スタッフのパフォーマンスの向上につながります。

ただし、継続した十分なトレーニングがなければ重要業務のパフォーマンスは低下し続けます。調査対象となった IT サポート業務と IT セキュリティ業務では、継続したトレーニングがない場合、パフォーマンスは 4 年間で **25%** 低下しました。

一方、継続したトレーニングと認定があれば IT スタッフは質の高いパフォーマンスを維持します。



おわりに

ITシステムが事業運営にとってよりいっそう欠かせないものとなる中、組織のITパフォーマンスは全社的なITの成功にとってますます重要になっています。

IT部門のリーダーは、ITサポートとITセキュリティのスタッフを含むITリソース全体のパフォーマンスの最大化に努めなければなりません。

そのパフォーマンスの重要な要素となるのが、スキルを持つ人材の採用と社員の継続的なトレーニング・認定の実施です。



IDC ホワイトペーパーは IT 部門のリーダーに次のことを推奨しています。

- ・重要なポストには確認・認定されたスキルを持つ人材を採用すること
- ・全社員向けに継続的な関連性のあるトレーニングを実施すること
- ・パフォーマンス水準を監督し、パフォーマンスの低下に迅速に対処すること



認定資格





「CompTIA A+ や CompTIA Security+ といった綿密に設計された認定資格の取得を通じてスキルを確認することで、企業とその社員は、ビジネスの成功における IT の重要性が高まる今欠かせない知識や、自信、継続的なパフォーマンスを手にできます」

IDC 社 カッシング・アンダーソン

[Certification.CompTIA.org](https://certification.comptia.org)